

06.7.31



# 今月の経済・金融情勢

～わが国をめぐる経済・金融の現状～

2006年7月

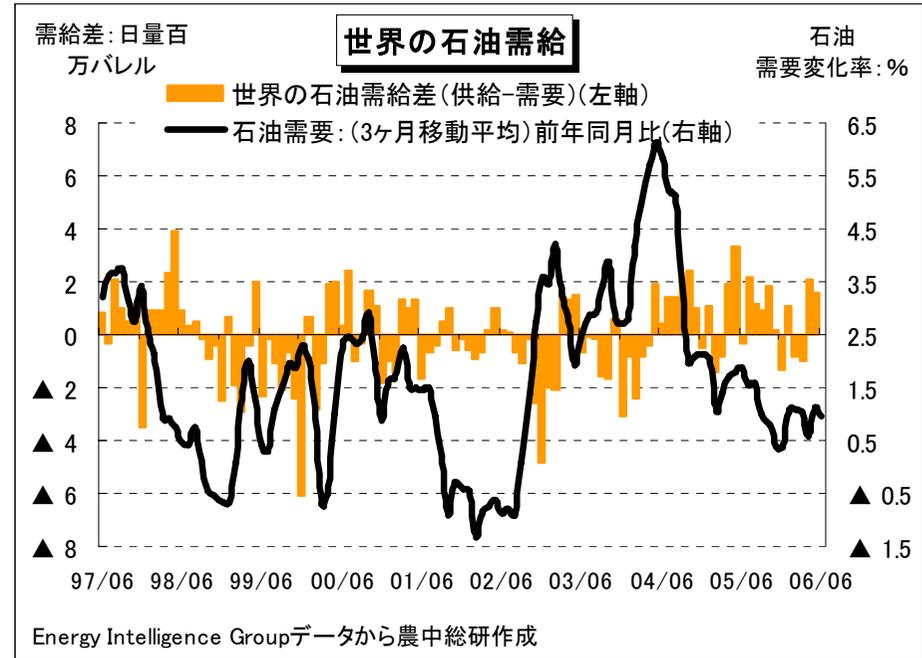
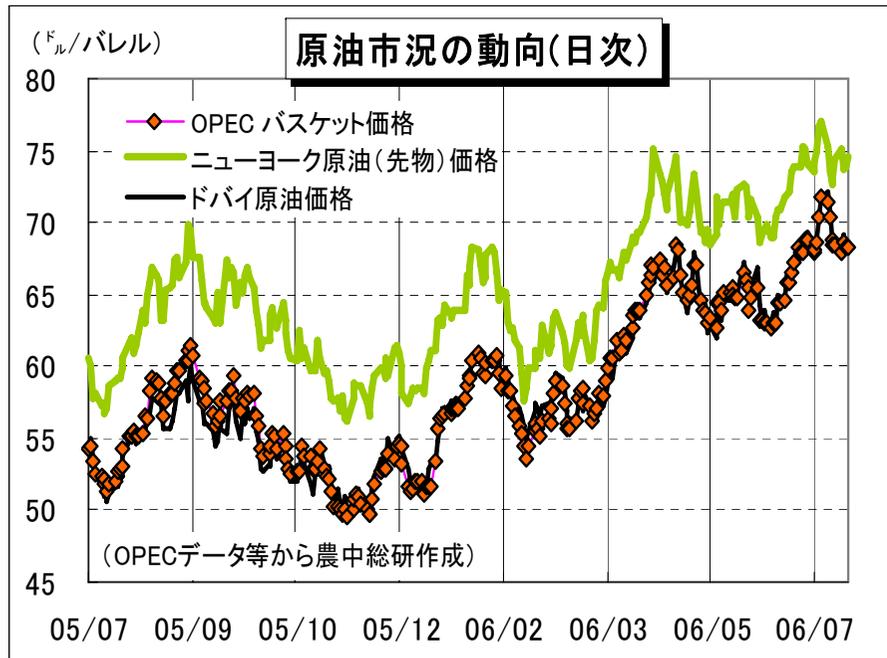
## 農林中金総合研究所

調査第二部 経済金融 I 班

<http://www.nochuri.co.jp/weekly/weekly.html>

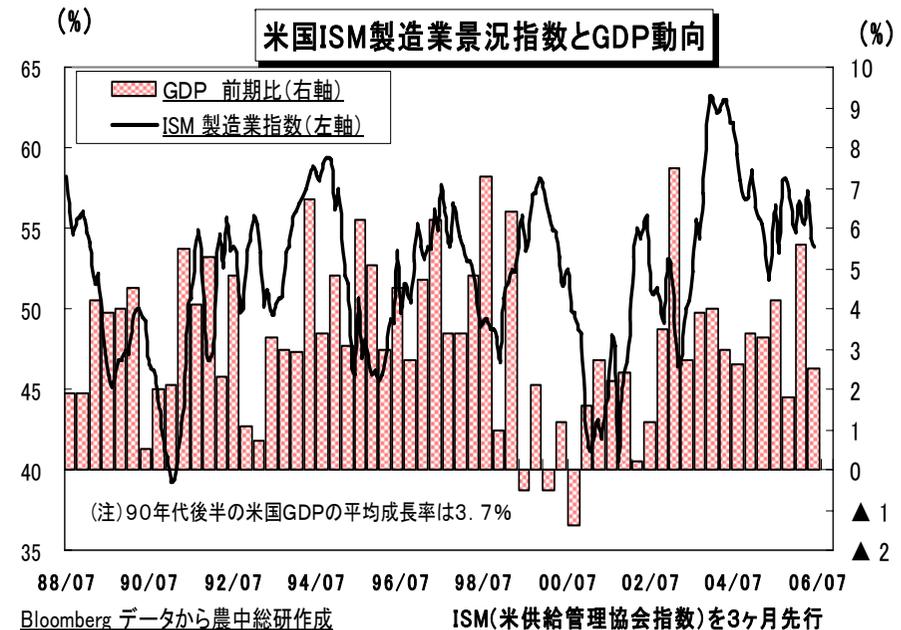
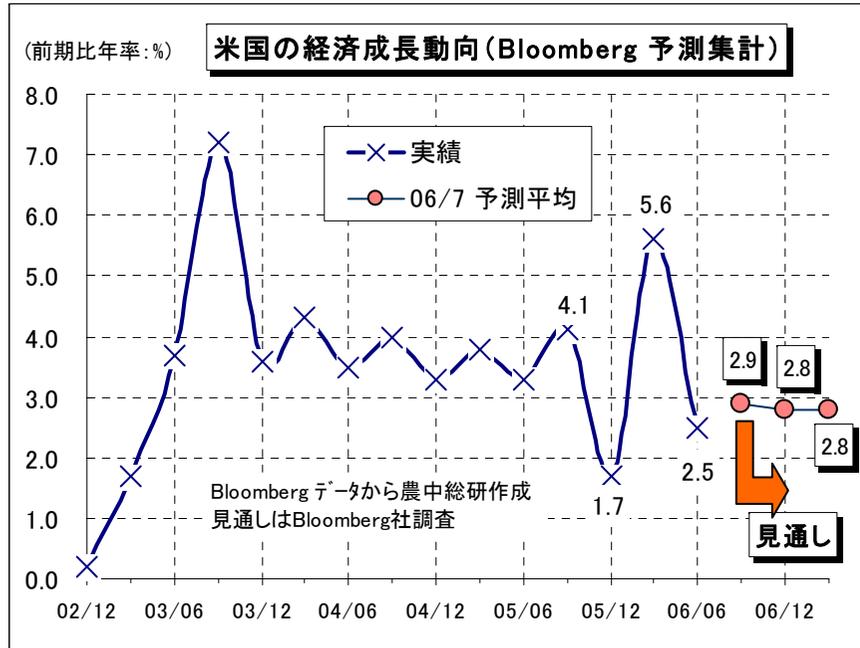
1. 6月下旬に再び上昇に転じた原油価格は、7月14日にはイスラム教シーア派組織ヒズボラとイスラエルとの紛争が中東地域に拡大するとの懸念から、WTI(期近物、終値)が1バレル＝77.03ドルと過去最高値を記録。その後もイラン、ナイジェリアなど産油国の情勢不安とともに北朝鮮問題も材料視され、最高値圏での取引が続いている。レバノンでの停戦交渉は、依然として先行き不安が払拭できない状況にある。当面は前述の中東情勢が不安視されるほか、中国・インドなど新興国の高成長もよる原油需要増加が持続していることもあり、原油価格の高止まりが予想される。
2. 米国では、雇用者数や個人消費の伸びが緩やかになっているものの、景気拡大が続いている。06年7月調査によれば米国エコノミストは、今後も前期比年率3%程度の成長が続くものの、年後半には利上げの影響が浸透し始め、伸び率が緩やかに弱まると見込んでいる。一方、米政策金利は6月29日に0.25%引き上げられ5.25%になったが、7月19日に行われた米FRB議長の議会証言を受けて利上げ休止観測が浮上。米長期金利は5.0%台に小幅低下して推移している。
3. わが国では06年1～3月期の実質GDP成長率(2次速報)が前期比+0.8%(年率換算+3.1%)と、1次速報から0.3ポイント(年率で1.2ポイント)上方修正された。個人消費、企業設備投資が増加し、民需中心に回復が継続している。足下6月の鉱工業生産は2ヶ月ぶりに前月比プラスとなり、先行きも大幅増を見込んでいるが、電子部品・デバイス工業の在庫が積み上がっていることは懸念される。一方、設備投資は企業収益の拡大を受け増加しており、先行指標となる機械受注は4～6月期も前期比プラスとなる可能性が高い。
4. 外国為替市場では、日銀が7月14日にゼロ金利政策を解除した直後には、「今後の利上げペースはゆっくりと行う」との福井日銀総裁発言を受けて、追加利上げ観測が後退し、一時1ドル＝117円88銭まで円高・ドル安が進んだが、足元米景気減速観測などから1ドル＝114円台へと円高ドル安が進んでいる。一方、欧州中央銀行による追加利上げ観測の高まりから対ユーロでは円安が進み、円は7月下旬に最安値を更新。日本の長期金利の目安である新発10年国債利回りは、日銀の量的緩和政策解除(3月9日)以降上昇し5月中旬に4月中旬以来となる2.0%に一時乗せたものの、日銀による追加利上げが緩やかなペースで行われることが示されたため、小幅低下して推移し、7月31日は1.915%で終了。一方、6月の消費者物価は8ヶ月連続で前年比プラスとなり、原油高等から先行きもプラス圏で推移する見通し。日経平均株価は世界的な株安から6月中旬に14,200円台まで下落した後、米国株持ち直しや業績発表を好感し、7月31日は15,456円81銭に回復。
5. 政府は7月の「月例経済報告」で景気判断を「回復している」と5ヶ月連続で据え置き。ただし、物価については「デフレ」の表現を削除し、判断を強めた。一方、日銀は7月の景況判断を「着実に回復」から「緩やかに拡大」に変更し、6ヶ月ぶりに上方修正した。

# 原油価格：調整気味に推移した後、再上昇



- ニューヨーク原油先物価格(WTI期近、終値)は、6月中旬に60ドル/バレル台後半まで低下したが、7月に入り、中東情勢の悪化などにより再び上昇圧力が強まり、7月14日に77.03ドル/バレルと史上最高値を更新した。足元、70ドル/バレル台に高止まっている。
- 中東情勢緊迫化やナイジェリアでの武装勢力による石油精製施設への攻撃などの他、供給不安観測が根強い。その一方、米国の原油・ガソリン在庫は安定しており、米国の景気減速により、燃料需要が鈍化するという見方もでている。
- イラン核開発問題については、7月31日に国連安全保障理事会が、イランに対し核関連活動の停止を要求し、8月末までに応じなければ制裁措置を警告する内容の決議を採択。イスラエル軍とレバノンのイスラム教シーア派民兵組織ヒズボラの戦闘は、国連や関係諸国による停戦交渉が続いているが事態は流動的である。
- 当面は、①中国、インドなどの新興国の需要増加から中期的な需給引き締め観測、②OPECの高めの価格政策指向、③中東情勢とテロ懸念などから、原油価格の高止まりが予想される。

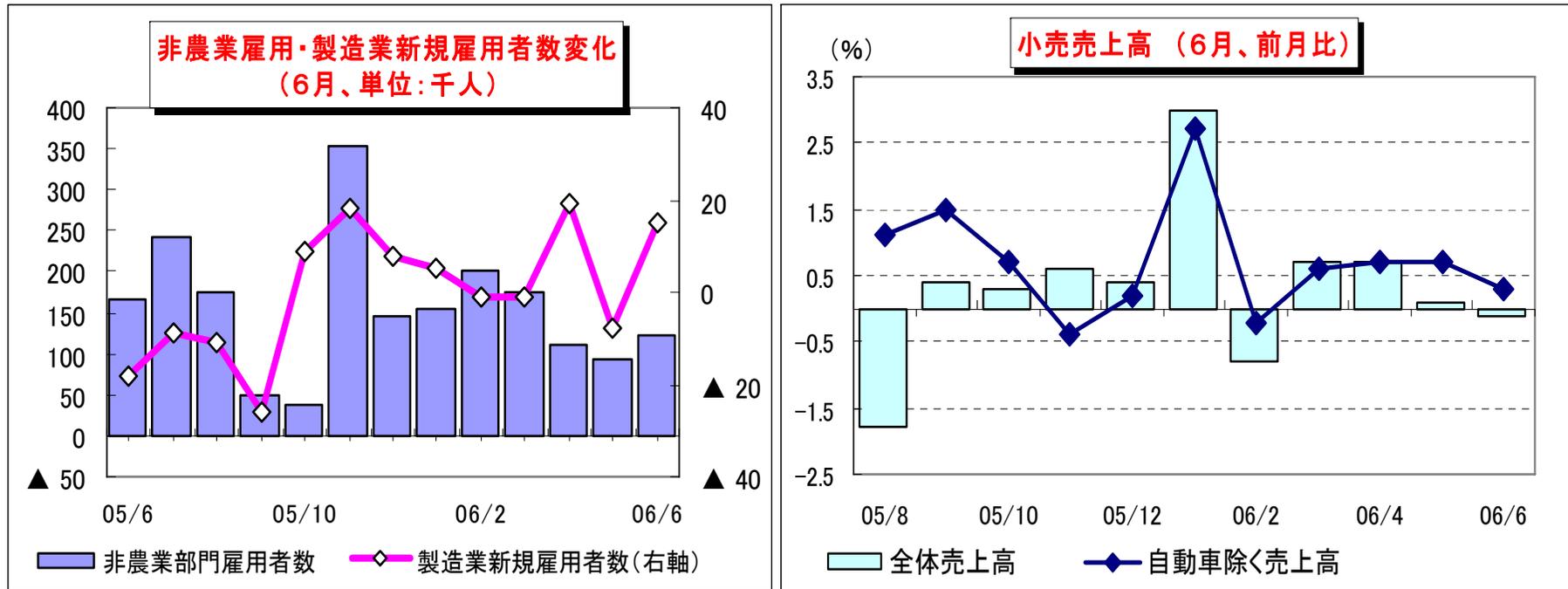
# 米国経済①：先行き+2%後半の成長との見方強まる



•米国の06年4～6月期の実質GDP（速報値）は、事前予測（前期比年率+3.0%）を下回る同+2.5%となり、高成長（同+5.6%）となった前期から伸びが鈍化。個人消費や企業の設備投資が減速。06年7月調査によれば米国エコノミストは、過去17回にわたる利上げ効果が浸透し始め、今後は2%台後半の巡航速度での成長が続くと見込んでいる。

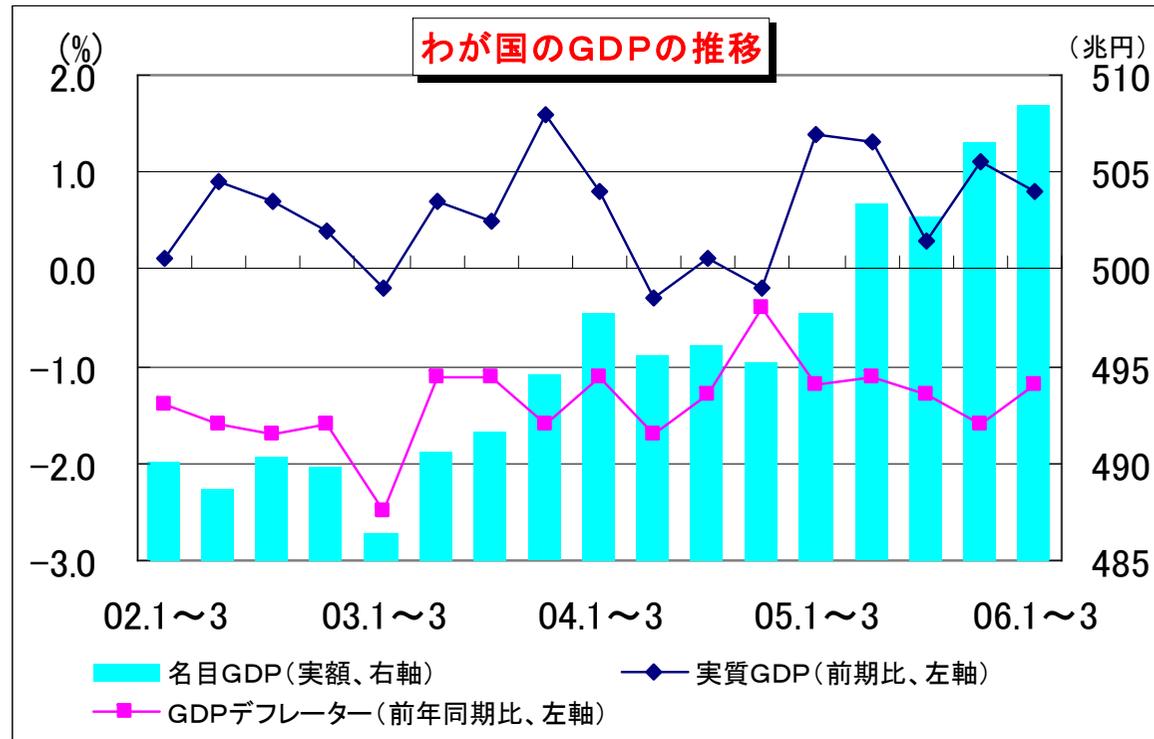
•代表的な企業の景況感指標であり、景気先行指標でもある「全米供給管理協会 (ISM) 製造業指数」は、6月に前月比▲0.6ポイント低下の53.8。景気判断の分かれ目となる50を38ヶ月連続で上回っているが、2ヶ月連続で低下した。

## 米国経済②：小売売上高は減速



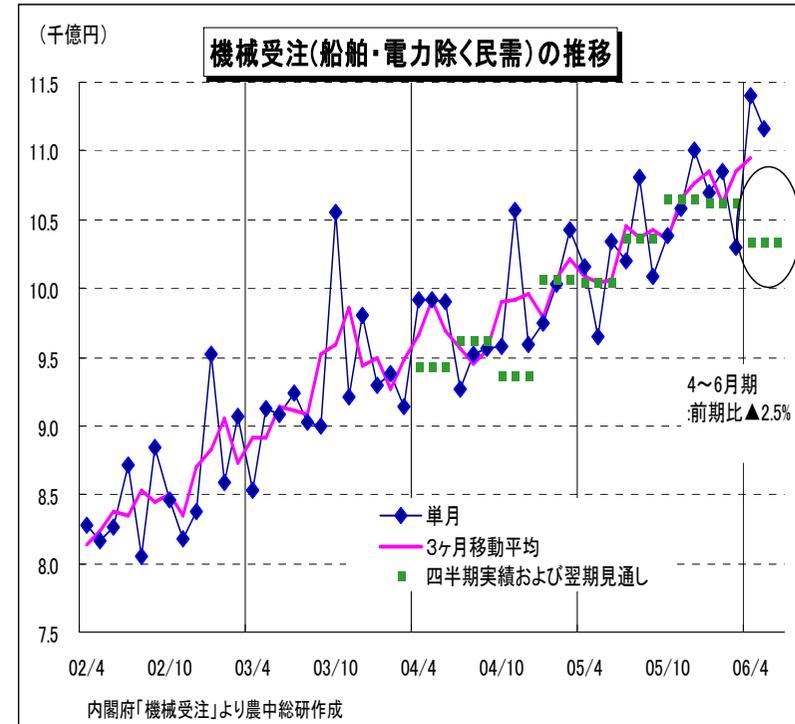
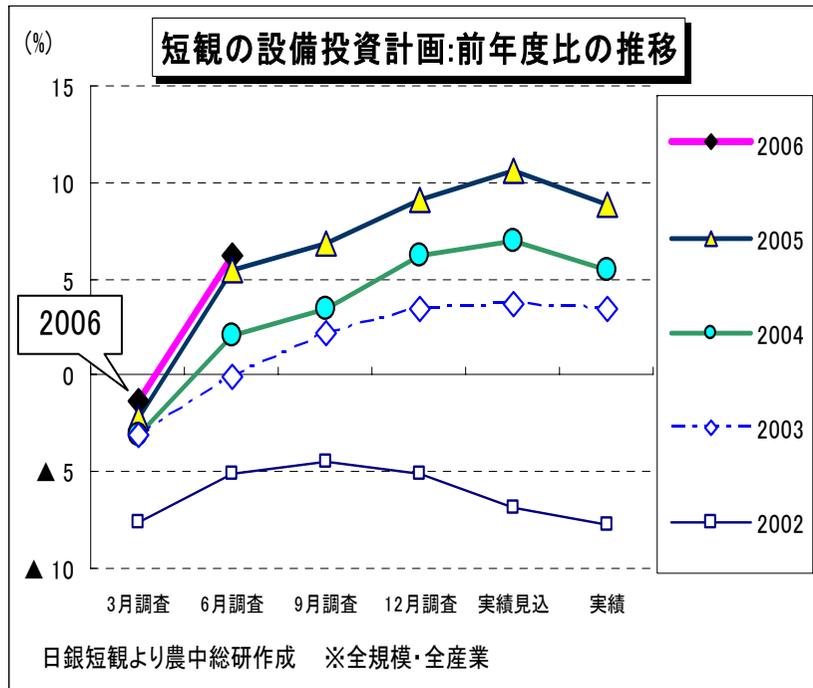
- 6月の米雇用統計では、非農業部門雇用者数が前月比+12.1万人と、事前予想の+17.5万人を下回った。ただし、5月については+7.5万人から+9.2万人に上方修正された。小売業は3ヶ月連続で減少。一方、平均時給は16.70ドルと、前月から8セントの増加となり、前年比では+3.9% (5月同+3.7%)から伸びが拡大。
- 6月の全体売上高は前月比▲0.1%と、4ヶ月ぶりに前月比マイナスとなった。自動車を除くベースで前月比+0.3%と伸びが鈍化。金利上昇に加え、ガソリン価格の高騰により実質消費が抑制されている可能性がある。

# 国内の経済成長率：5四半期連続のプラス成長



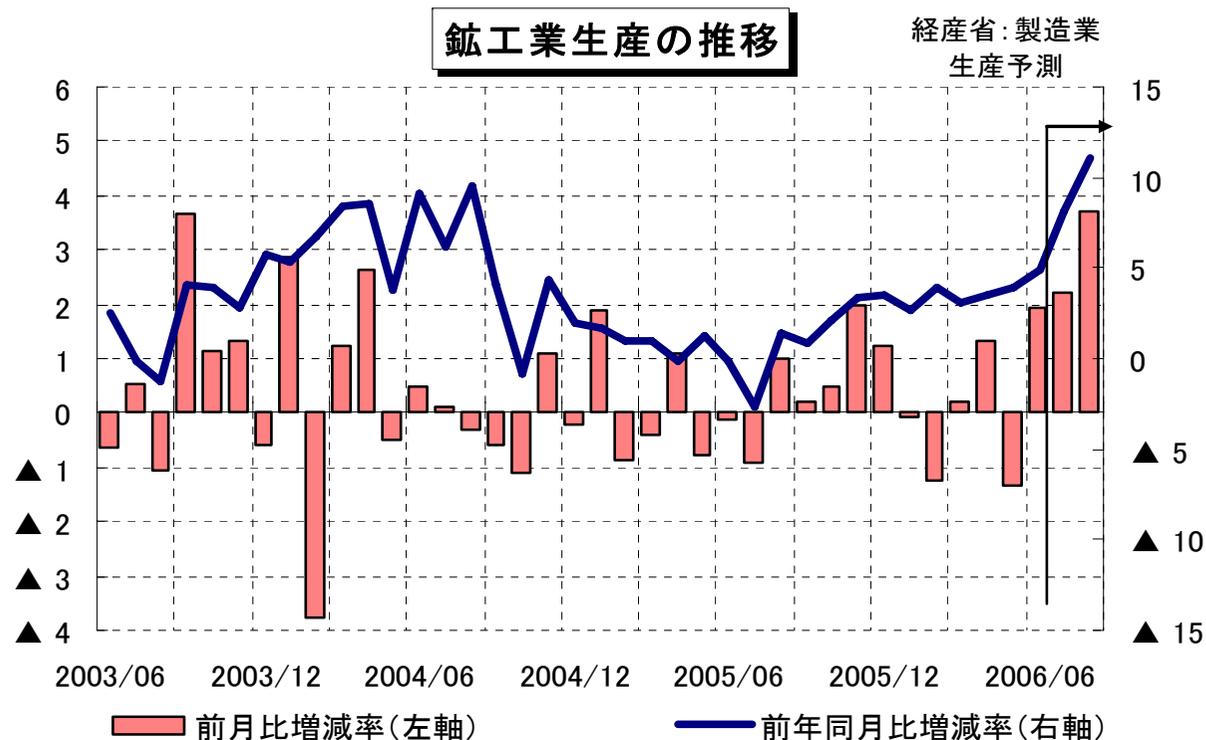
- 06年1～3月期の実質GDP成長率(2次速報)は前期比+0.8% (前期比年率換算+3.1%)と、1次速報の同+0.5% (同年率+1.9%)から上方修正され、5四半期連続のプラス成長となった。
- 速報値よりも設備投資が大きく上向き、0.3ポイント(年率換算で1.2ポイント)上方修正された。個人消費、住宅投資が増加し、民需中心に底堅い回復が続いていることが再確認された。
- 一方、ホームメイド・インフレを示すとされるGDPデフレーターは、前年同期比▲1.2%と下落率が縮小したが、いまだに大きめのマイナスが残っている。これまでの景気拡大に伴ってマクロ的な需給ギャップは縮小しているものの、企業部門において価格転嫁が遅れていることから、依然としてマイルドなデフレ状態が続いている。

# 国内の民間企業設備投資：06年度も増勢が続く見通し



- 日銀短観(6月調査)の06年度設備投資計画(土地投資額を含む)は、前回3月調査時点から上方修正され、前年度比+6.2%と、6月調査としては1990年以来16年ぶりの高い伸び。また、GDP統計上の設備投資に近い概念である、ソフトウェアを含み土地を除く設備投資額も、同+7.6%と増勢が続く見通し。
- 一方、設備投資の先行指標である機械受注(船舶・電力を除く民需)は、5月に前月比▲2.1%であったが、4月の大幅増(同+10.8%)により、6月が同▲16.9%以上の増加であれば、4~6月期は2四半期ぶりのプラスとなる。

# 鋳工業生産①：先行き大幅増を見込んでいるが...

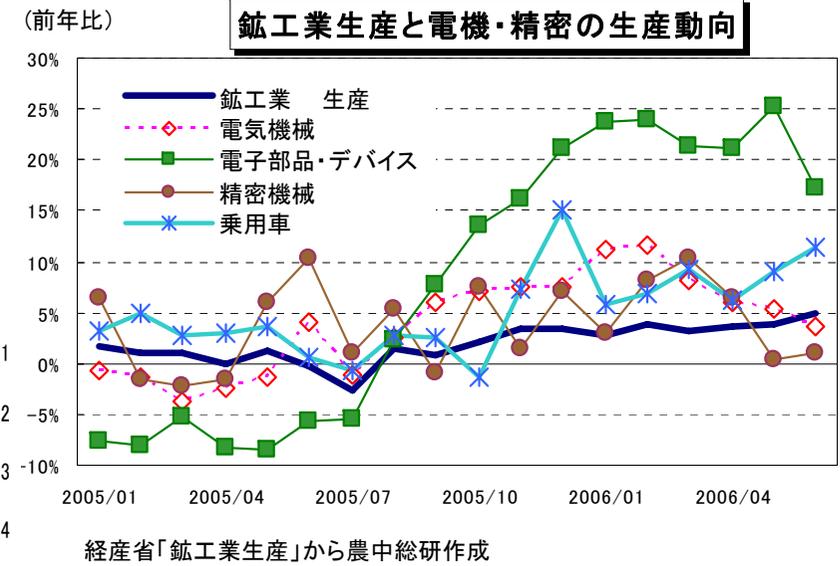
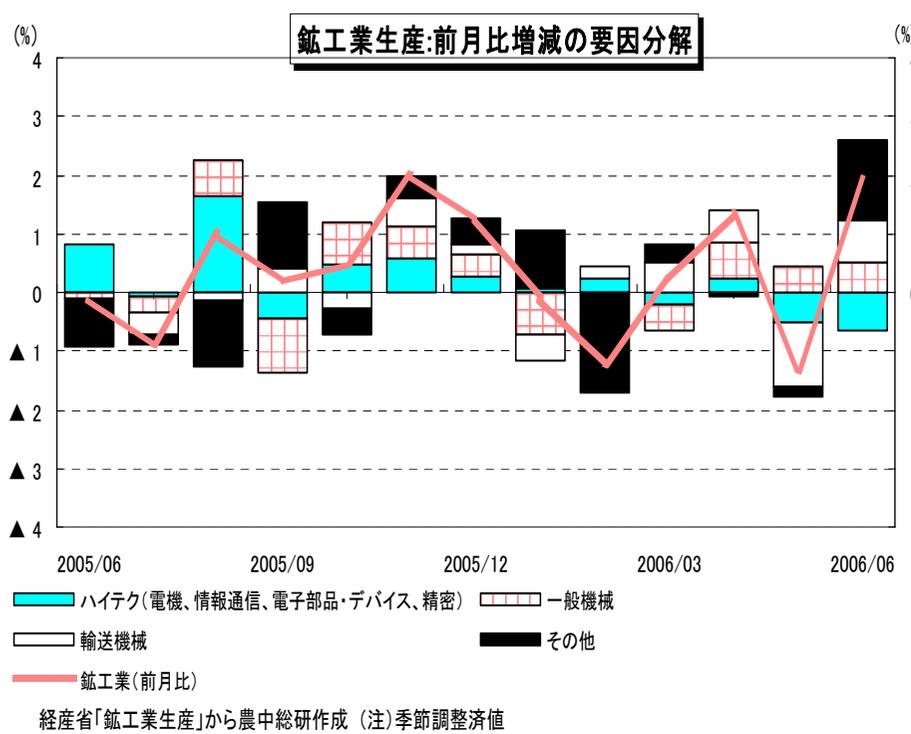


資料 経済産業省「鋳工業生産」

(注) 予測は、製造工業生産予測調査の当月見込みと翌月見込みの季節調整済増減率

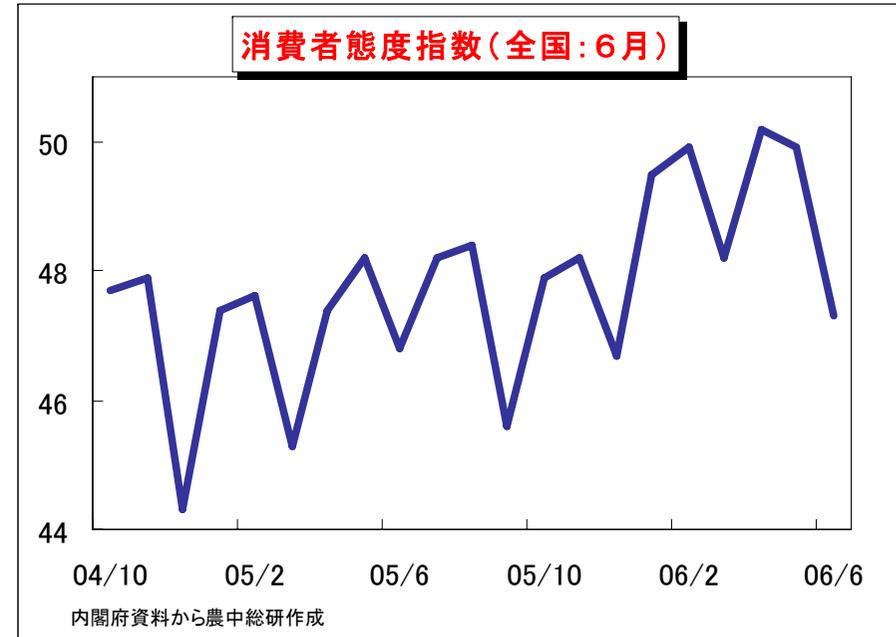
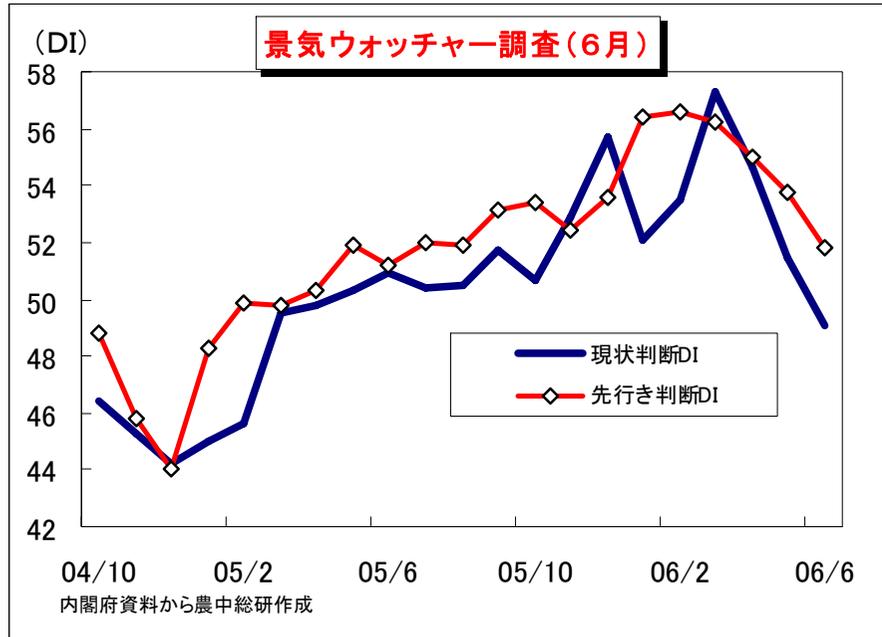
- 6月の鋳工業生産指数(速報)は前月比+1.9%と、2ヶ月ぶりのプラスとなった。経産省では「総じてみれば、生産は上昇傾向にある」と前月までであった「緩やかに」の文言を取り除き、判断を上方修正した。
- 製造工業生産予測調査では、7月(同+2.2%)、8月(同+3.7%)と上昇傾向が続くことが見込まれている。ただし先行きは、IT関連財の在庫調整により生産が抑制される恐れがあるほか、米経済の減速による輸出の伸び悩み懸念など、決して楽観視できる状況にはない。

# 鉱工業生産②：ハイテク関連の伸びが鈍化



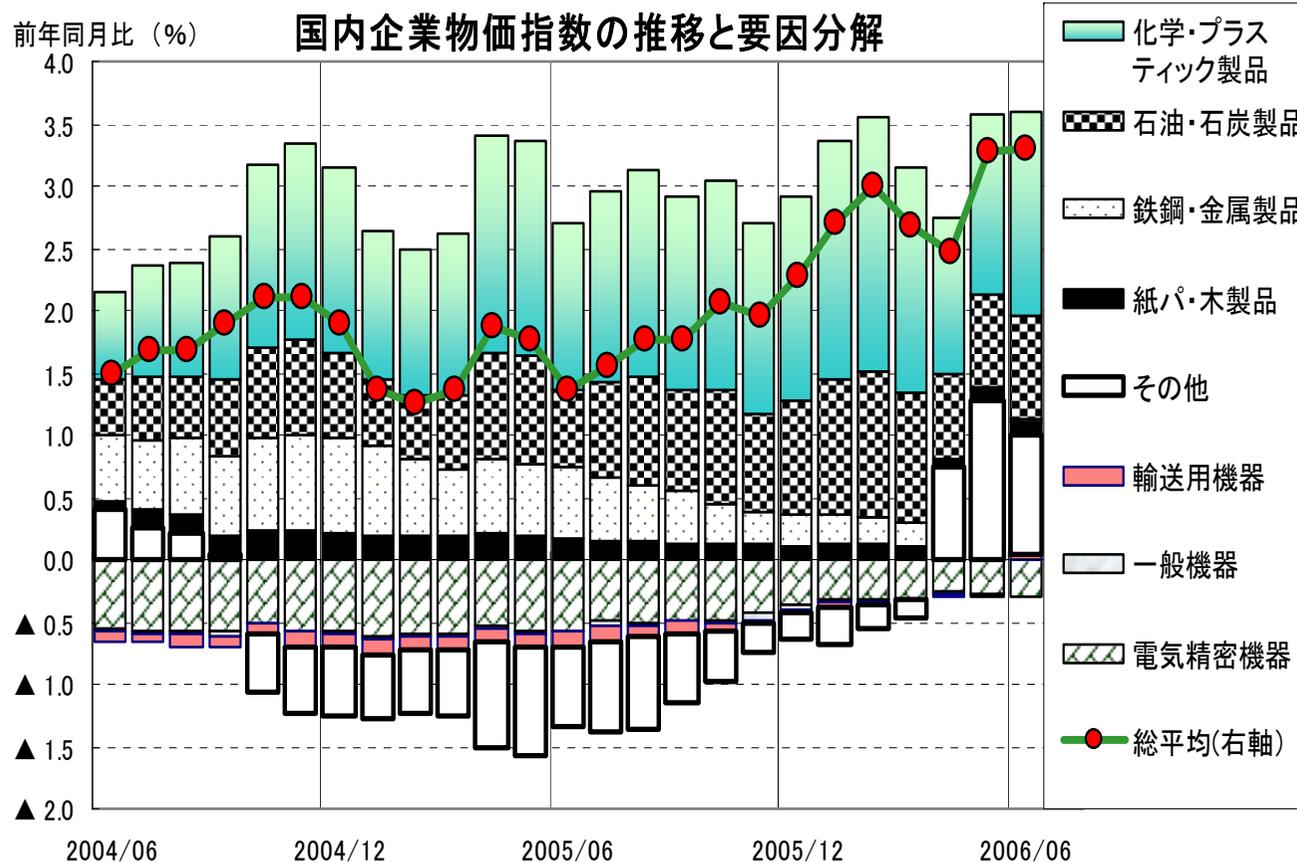
- 業種別の動向を見ると、6月は電子部品・デバイス工業などが低下し、輸送機械工業、一般機械工業、電気機械工業、情報通信機械工業などが上昇した。
- 品目別では、普通乗用車、小型乗用車、外部記憶装置、セパレート型エアコンなどの生産が増加した。
- 一方、電子部品・デバイス等ハイテク関連業種の生産は前年比プラス幅が縮小。台湾など東アジア諸国でIT関連製品の在庫が積みあがっていることもあり、その動向には注意が必要だ。

# 個人消費：消費者マインドは3ヶ月連続で低下



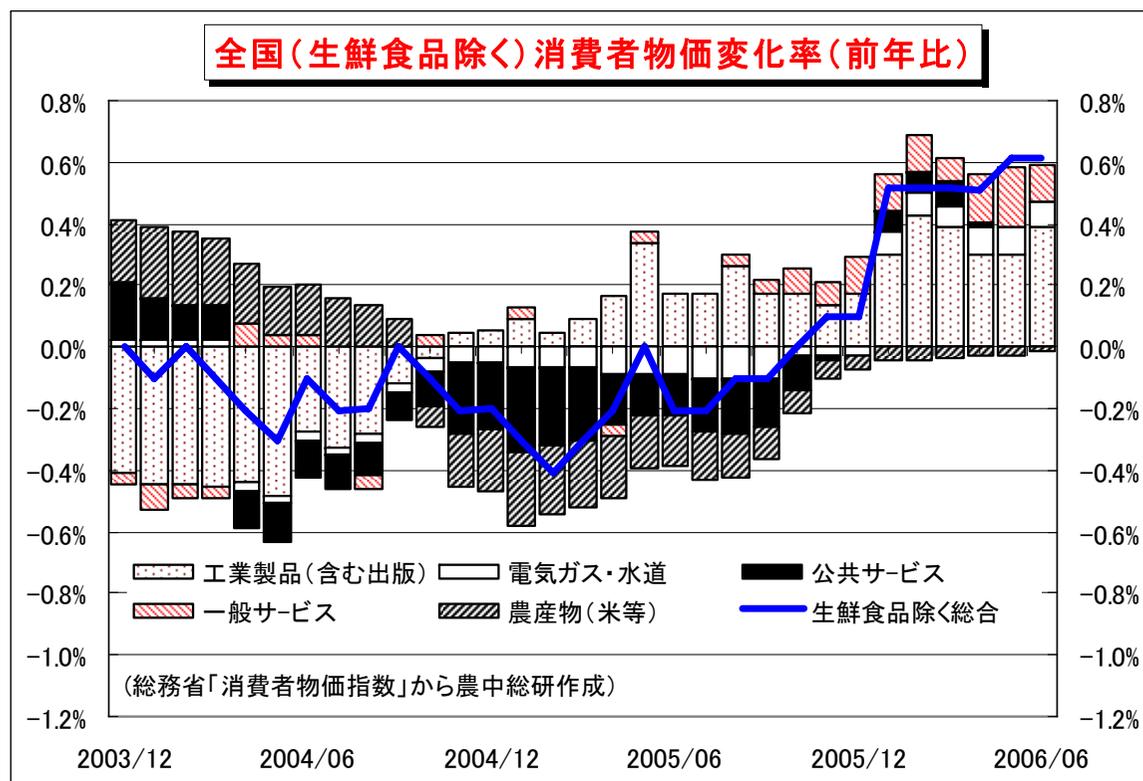
- 6月の景気ウォッチャー・現状判断DIは、前月比▲2.4ptの49.1と3ヶ月連続で低下。サッカーワールドカップ中継で客足が遠のいたり、天候不順で夏物衣料の販売は振るわなかったことなどによる。また、先行き判断DIも、同▲2.0ptの51.8と3ヶ月連続で低下。
- 家計の消費意欲を示す6月の消費者態度指数は47.3と、前年に比べ+0.5pt上昇したが、前月比では▲2.6ptの低下となった。
- 景気回復持続を受けた労働市場の引き締まりから賃金が緩やかな上昇傾向にある他、天候不順といった一時的な要因が剥落しさえすれば、消費に力強さが戻り、堅調に推移すると予想される。

# 企業物価：国際商品市況は再び上昇



- 6月の企業物価は、国際商品市況上昇の一服から前月比▲0.1%。しかし、前年比では2ヶ月連続して+3.3%の上昇。前月比内訳では非鉄金属(銅地金)等が下落した。
- 国際商品市況は5月中旬以降下落していたが、国際情勢の悪化などにより7月以降、再び上昇圧力が働きやすくなっている。
- 6月は為替レート(円安)推移もあって、最終財が前年比+0.3%と8ヶ月連続でプラスとなった。川上・川中から川下への価格波及力は依然として弱い。

# 消費者物価：前年比上昇が続き、当面はプラス圏へ



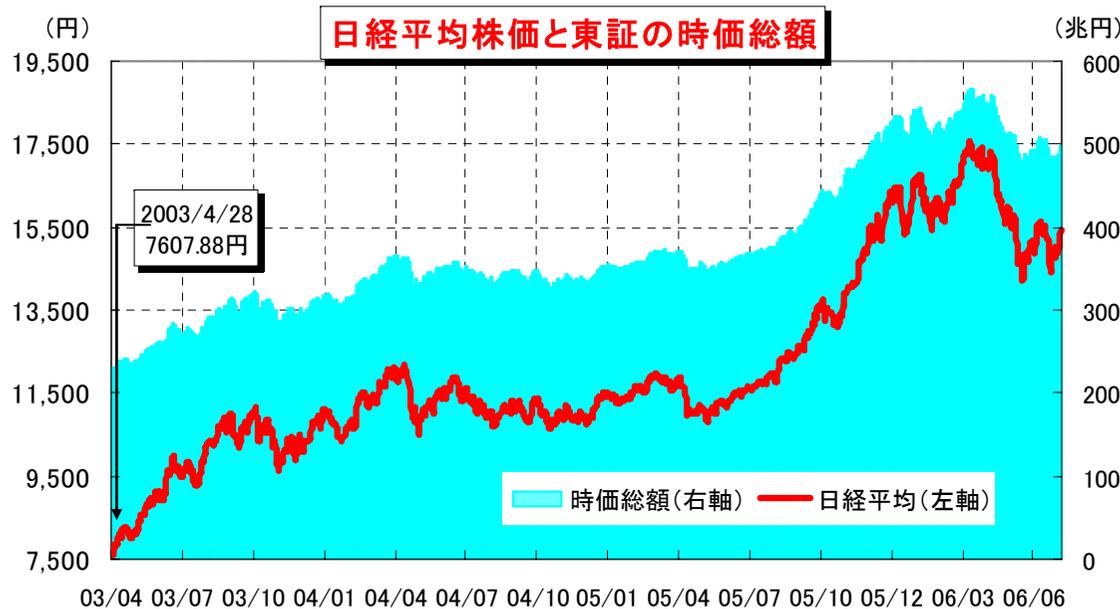
- 6月の消費者物価(除く生鮮食品)は前年比+0.6%と、8ヶ月連続で前年比プラスとなった。原油高を背景に灯油やガソリン(レギュラー)の上昇が続き、物価を押し上げた。
- 当面は原油価格の高止まりに伴う価格転嫁が継続し、化学繊維製品や航空運賃といった周辺財へも価格波及が進行し、今後もプラス圏で推移するとみられる。
- なお、消費者物価は今年8月25日に基準改定(2000年基準→2005年基準)される予定。これに伴い▲0.2%程度下方改訂されるとみられるが、それでもプラス圏で推移することが確実視されるため、金融政策に与える影響は少ないと考えられる。

# 長期金利：新発10年国債利回り、一時2%上昇後、小幅低下



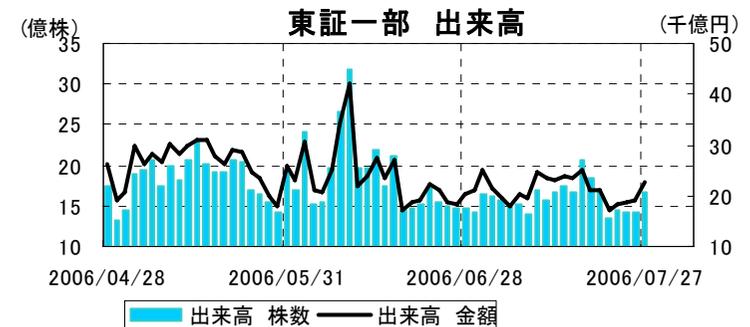
- 長期金利の目安である新発10年国債利回りは、06年明け以降、金融緩和政策の転換により金利水準全体が上昇すると観測が織り込まれ上昇に転じた。
- 量的緩和政策が解除された3月9日以降は急速に上昇したが、4月中旬～5月中旬にかけては、1.9～2.0%程度でもみ合いとなった。
- 7月14日に日銀はゼロ金利政策解除を決定したが、福井日銀総裁が連続利上げを否定したことなどもあり、投資環境の不透明感が払拭され、長期金利は総じて安定して推移している。

# 株価：GW明け以降、調整局面入り



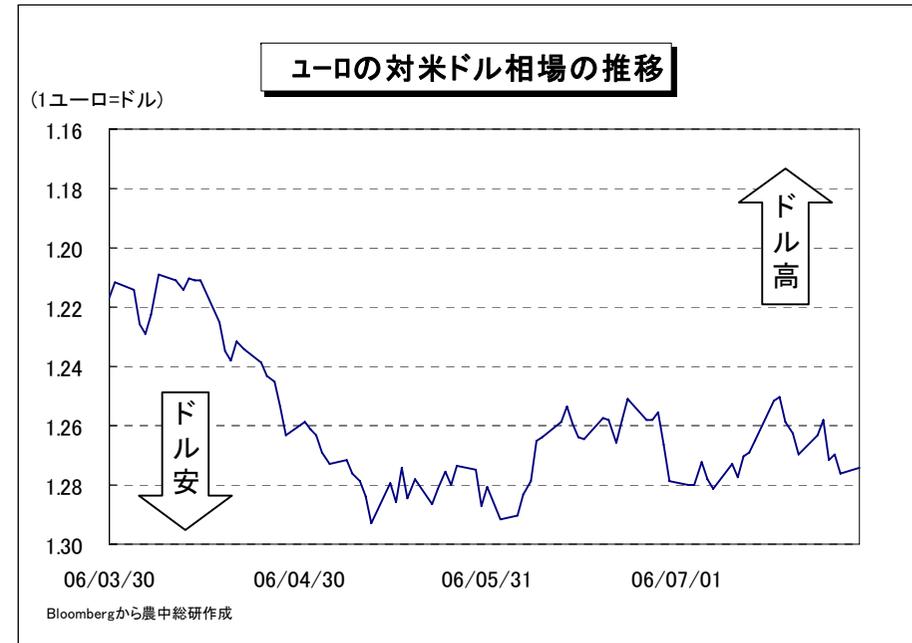
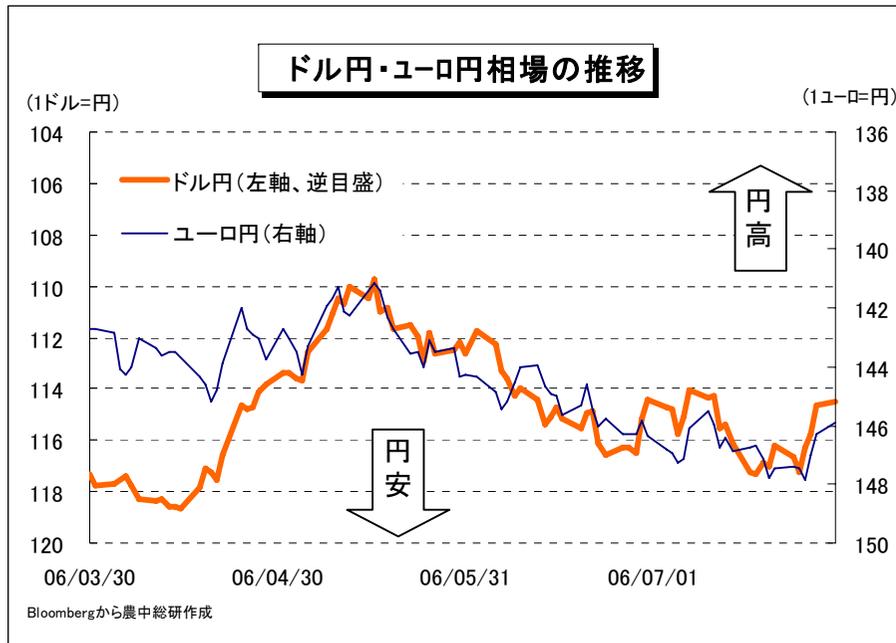
Bloombergから農中総研作成

		(兆円)	
直近の時価総額	2006/7/31	前年度末(06年3月末)比	
	499.07		▲ 49.1
バブル崩壊後最安値の時価総額	2003/4/28	バブル崩壊後最安値比	
	228.50		270.6



- 直近の時価総額は、バブル崩壊後の最安値時に比べ約271兆円増加し、499兆円(7月31日現在)となっている。
- 日経平均株価は、新年度入り直後は景気回復の継続や企業収益の拡大等を背景に続伸し17,500円台まで一時上昇した。
- しかし、世界的な過剰流動性解消の動きや米経済・金融政策に対する先行き不透明感などを背景に調整が進み、6月中旬には14,200円台まで下落。このところは持ち直しの動きも見られ、15,000円台を回復して推移している。

# 為替動向：ドル安が一服、ユーロ高は継続



- 外国為替市場では、4月21日のG7声明で中国をはじめとするアジア諸国に対し通貨上昇を容認するよう求めたことから、これをきっかけにアジア通貨全般に上昇圧力がかかり円高ドル安が急激に進んだ。5月8日には一時1ドル＝109円台と昨年9月以来の円高・ドル安の水準となった。
- その後は、米FOMCで追加利上げ観測の強まりによりドル高が進んだが、6月29日の米FOMC以降は8月FOMCでの追加利上げ休止という見方が強まり、ドル安となった。
- ユーロ・ドル相場は、ユーロ圏の金利先高観やドル資産回避の動きも見られ、5月15日には一時1ユーロ＝1.2972ドルと年初来高値を更新。その後は1.25ドル台に小安くなったが、このところは1.27ドル台とユーロ高圏内で推移している。

# 政府、日銀の景気判断：日銀は判断引き上げ

年月	政府月例報告		日銀金融経済月報		
2005年	7月	→	弱さを脱する動きがみられ、緩やかに回復	→	IT(情報技術)関連分野における調整の動きを伴いつつも、回復を続けている
	8月	↗	緩やかに回復している	↗	IT(情報技術)関連分野における調整が進むことで、回復を続けている
	9月	→	緩やかに回復している	↗	回復を続けている
	10月	→	緩やかに回復している	→	回復を続けている
	11月	→	緩やかに回復している	→	回復を続けている
	12月	→	緩やかに回復している	→	回復を続けている
2006年	1月	→	緩やかに回復している	↗	着実に回復を続けている
	2月	↗	回復している	→	着実に回復を続けている
	3月	→	回復している	→	着実に回復を続けている
	4月	→	回復している	→	着実に回復を続けている
	5月	→	回復している	→	着実に回復を続けている
	6月	→	回復している	→	着実に回復を続けている
	7月	→	回復している	↗	穏やかに拡大している

内閣府「月例経済報告」、日銀「経済月報」より農中総研作成 (注) 矢印は景気判断の方向を示す。

- 政府は、7月の月例経済報告で、景気の基調判断を5ヶ月連続で据え置き。ただ物価については約5年ぶりに「デフレ」の文言を削除。先行きも、国内民間需要に支えられた景気回復が続くとの見通し。
- 日銀は、7月の金融経済月報で、「着実に回復を続けている」から「穏やかに拡大している」と景気判断を6ヶ月ぶりに引き上げ。先行きについては「緩やかに拡大していく」と前月の判断を踏襲。

# 内外金融市場データ:

## 内外金融市場データ

(農中総研 調査第二部 経済金融 I 班作成)

日付	長期金利				短期金利				外国為替			内外株価指数				海外金利			その他			
	新発10年国債利回	債先10年物中心限月	みずほコーポ新発5年金融債利回	金利スワップレート5年物(円-円)仲値	無担保コール翌日物	TIBORユーロ円3ヵ月	LIBOR円3ヵ月	TIBORユーロ円6ヵ月	金利先物(利回り)中心限月	円ドル・スポットレート東京17:00現在	ユーロ・ドル・スポットレート	ユーロ・ポットレート東京17:00現在	日経平均(225種)	TOPIX 終値	NYダウ工業株30種平均	ナスダック 総合	米国財務省証券10年物国債利回	LIBORドル3ヵ月	独国10年物国債利回	NY金先物・期近	WTI 期近	OPEC バスケツ価格
06/06/07	1.880	133.41	1.533	1.533	0.005	0.3000	0.313	0.390	0.885	113.26	1.279	145.17	15,096.01	1,533.54	10,930.90	2,151.80	5.018	5.28	4.008	627.40	70.82	65.43
06/06/08	1.855	133.83	1.472	1.478	0.008	0.3030	0.304	0.391	0.785	113.97	1.265	145.39	14,633.03	1,482.22	10,938.82	2,145.32	4.994	5.30	3.927	609.10	70.35	63.84
06/06/09	1.845	134.10	1.452	1.449	0.019	0.3010	0.303	0.387	0.745	113.91	1.264	144.13	14,750.84	1,498.68	10,891.92	2,135.06	4.971	5.31	3.934	608.20	71.63	64.85
06/06/12	1.830	132.63	1.457	1.444	0.032	0.3010	0.303	0.390	0.765	114.21	1.259	144.09	14,833.01	1,510.89	10,792.58	2,091.32	4.977	5.32	3.914	606.80	70.36	65.41
06/06/13	1.775	133.10	1.423	1.401	0.059	0.3040	0.309	0.392	0.740	114.49	1.253	143.95	14,218.60	1,458.30	10,706.14	2,072.47	4.961	5.33	3.868	562.50	68.56	63.20
06/06/14	1.770	133.20	1.396	1.381	0.066	0.3060	0.310	0.391	0.710	114.96	1.260	144.70	14,309.56	1,466.14	10,816.92	2,086.00	5.062	5.34	3.900	562.30	69.14	62.66
06/06/15	1.775	133.23	1.403	1.381	0.066	0.3070	0.318	0.392	0.745	114.90	1.264	144.91	14,470.76	1,485.98	11,015.19	2,144.15	5.094	5.40	3.950	566.50	69.50	63.10
06/06/16	1.805	132.72	1.453	1.437	0.062	0.3100	0.318	0.394	0.775	114.75	1.264	145.24	14,879.34	1,534.71	11,014.55	2,129.95	5.126	5.41	3.939	578.00	69.88	63.02
06/06/19	1.820	132.68	1.464	1.447	0.073	0.3120	0.316	0.395	0.785	115.62	1.258	145.57	14,860.35	1,527.66	10,942.11	2,110.42	5.135	5.42	3.976	568.80	68.98	62.64
06/06/20	1.860	132.33	1.512	1.495	0.055	0.3130	0.330	0.396	1.005	114.79	1.258	144.45	14,648.41	1,510.32	10,974.84	2,107.06	5.149	5.44	3.995	576.90	68.94	62.95
06/06/21	1.845	132.40	1.526	1.503	0.046	0.3210	0.341	0.403	1.020	114.74	1.266	144.84	14,644.26	1,505.51	11,079.46	2,141.20	5.153	5.45	4.015	587.50	70.33	62.87
06/06/22	1.855	132.28	1.526	1.510	0.030	0.3270	0.345	0.406	1.020	115.21	1.258	145.58	15,135.69	1,549.12	11,019.11	2,122.98	5.208	5.46	4.061	582.20	70.84	64.36
06/06/23	1.870	132.11	1.538	1.520	0.034	0.3270	0.344	0.410	1.005	116.13	1.251	145.96	15,124.04	1,545.57	10,989.09	2,121.47	5.222	5.48	4.081	584.80	70.87	64.40
06/06/26	1.900	131.86	1.559	1.543	0.055	0.3290	0.347	0.409	1.020	116.27	1.258	146.13	15,152.40	1,548.97	11,045.28	2,133.67	5.233	5.49	4.092	584.80	71.80	64.59
06/06/27	1.900	131.78	1.571	1.554	0.060	0.3330	0.346	0.412	1.020	116.23	1.258	146.40	15,171.81	1,549.37	10,924.74	2,100.25	5.200	5.50	4.094	581.60	71.92	65.79
06/06/28	1.905	131.75	1.576	1.569	0.028	0.3370	0.349	0.414	1.020	116.38	1.256	146.22	14,886.11	1,527.51	10,973.56	2,111.84	5.243	5.50	4.097	578.30	72.19	65.89
06/06/29	1.915	131.58	1.604	1.592	0.016	0.3450	0.354	0.422	1.040	116.41	1.266	146.11	15,121.15	1,547.75	11,190.80	2,174.38	5.194	5.51	4.066	588.90	73.52	66.60
06/06/30	1.920	131.65	1.604	1.594	0.027	0.3480	0.355	0.427	1.050	114.66	1.279	145.79	15,505.18	1,586.96	11,150.22	2,172.09	5.136	5.48	4.071	616.00	73.93	67.29
06/07/03	1.965	131.08	1.604	1.650	0.024	0.3490	0.358	0.428	1.090	114.57	1.280	146.41	15,571.62	1,593.22	11,228.02	2,190.43	5.149	5.48	4.092	616.00	73.93	68.20
06/07/04	1.960	131.24	1.675	1.640	0.024	0.3520	0.361	0.432	1.080	114.60	1.280	146.81	15,638.50	1,602.43	休場	休場	5.149	5.49	4.078	休場	休場	67.85
06/07/05	1.975	130.99	1.705	1.665	0.023	0.3590	0.370	0.440	1.105	115.04	1.273	146.76	15,523.94	1,589.97	11,151.82	2,153.34	5.220	5.49	4.137	629.70	75.19	67.92
06/07/06	1.975	130.90	1.726	1.672	0.024	0.3660	0.378	0.449	1.110	115.57	1.278	147.27	15,321.40	1,572.29	11,225.30	2,155.09	5.179	5.51	4.113	636.30	75.14	68.74
06/07/07	1.950	131.15	1.704	1.644	0.020	0.3730	0.384	0.455	1.105	114.94	1.281	146.88	15,307.61	1,573.15	11,090.67	2,130.06	5.126	5.51	4.065	634.80	74.09	68.77
06/07/10	1.970	131.04	1.714	1.653	0.037	0.3790	0.389	0.461	1.115	113.56	1.273	145.38	15,552.81	1,594.07	11,103.55	2,116.93	5.124	5.50	4.087	626.10	73.61	67.90
06/07/11	1.965	131.20	1.686	1.629	0.069	0.3870	0.399	0.466	1.090	114.27	1.277	145.59	15,473.82	1,585.85	11,134.77	2,128.86	5.100	5.50	4.051	643.10	74.16	68.10
06/07/12	1.930	131.61	1.646	1.587	0.066	0.3930	0.404	0.474	1.050	114.55	1.270	146.07	15,249.32	1,563.69	11,013.18	2,090.24	5.098	5.50	4.087	651.20	74.95	68.66
06/07/13	1.910	131.77	1.635	1.571	0.058	0.4060	0.412	0.483	1.035	115.12	1.269	146.43	15,097.95	1,551.03	10,846.29	2,054.11	5.063	5.51	4.048	654.40	76.70	70.38
06/07/14	1.855	132.45	1.554	1.502	0.089	0.4120	0.406	0.489	0.960	115.68	1.265	146.59	14,845.24	1,521.71	10,739.35	2,037.35	5.063	5.50	3.983	668.00	77.03	71.71
06/07/17	休場	休場	休場	休場	休場	休場	0.406	休場	休場	休場	1.252	休場	休場	休場	10,747.36	2,037.72	5.063	5.49	3.993	651.90	75.30	71.43
06/07/18	1.825	132.64	1.520	1.482	0.302	0.4170	0.405	0.491	0.930	116.89	1.251	146.57	14,437.24	1,475.28	10,799.23	2,043.22	5.130	5.50	4.014	629.50	73.54	70.29
06/07/19	1.840	132.40	1.555	1.504	0.274	0.4260	0.406	0.498	0.955	117.55	1.259	146.81	14,500.26	1,475.42	11,011.42	2,080.71	5.049	5.52	3.984	642.80	72.66	68.74
06/07/20	1.810	132.62	1.534	1.485	0.263	0.4300	0.402	0.501	0.950	116.78	1.263	147.19	14,946.84	1,528.59	10,928.10	2,039.42	5.026	5.51	3.985	632.50	73.08	68.45
06/07/21	1.815	132.65	1.529	1.481	0.258	0.4300	0.402	0.502	0.955	116.31	1.269	147.27	14,821.26	1,515.53	10,868.38	2,020.39	5.040	5.49	3.956	620.20	74.43	68.46
06/07/24	1.850	132.33	#N/A	1.518	0.267	0.4310	0.403	0.503	0.980	116.73	1.264	147.34	14,794.50	1,514.22	11,051.05	2,061.84	5.042	5.49	3.956	613.20	75.05	67.99
06/07/25	1.870	132.24	1.581	1.538	0.253	0.4320	0.405	0.505	1.000	116.83	1.258	147.77	15,005.24	1,534.82	11,103.71	2,073.90	5.063	5.49	3.963	618.00	73.75	68.71
06/07/26	1.855	132.37	1.569	1.529	0.261	0.4320	0.404	0.505	0.995	116.89	1.272	146.94	14,884.07	1,520.44	11,102.51	2,070.46	5.030	5.50	3.983	621.90	73.94	68.27
06/07/27	1.870	132.35	1.569	1.532	0.264	0.4320	0.407	0.506	0.985	115.97	1.270	147.68	15,179.78	1,541.81	11,100.43	2,054.47	5.034	5.49	3.948	632.50	74.54	69.07
06/07/28	1.925	131.95	1.569	1.572	0.249	0.4350	0.413	0.509	1.000	115.57	1.276	146.69	15,342.87	1,559.41	11,219.70	2,094.14	4.990	5.49	3.920	634.80	73.24	68.97
06/07/31	1.915	132.00		1.571		0.4360		0.511	0.995	114.47	1.276	145.96	15,456.81	1,572.01			4.994		3.933			N.A.

(Bloomberg データから作成)

最終日は午後6:00現在。

(Bloomberg データから農中総研作成) 最終日は15:30現在



# 農林中金総合研究所

無断転載を禁ず。本資料は情報提供のみを目的に作成されたものです。投資のご判断等はご自身の責任でお願いいたします。

©2006 Norinchukin Research Institute Co.,Ltd

〒100-0004東京都千代田区大手町1-8-3

(株)農林中金総合研究所 調査第2部

TEL03-3243-7366